

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	単元のまとまりの評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
登場人物の気持ちをたしかめ、そうぞうしたことをつたえ合おう	<ul style="list-style-type: none"> 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
知りたいことを考えながら聞き、しつもんしよう	<ul style="list-style-type: none"> 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「話すこと・聞くこと」において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって話したり、質問したりしようとしている。
まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう	<ul style="list-style-type: none"> 段落の役割について理解している。 全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って説明する文章を読んだ感想を伝え合おうとしている。
相手に分かりやすいように、あんないの手紙を書こう	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整え、学習の見通しをもって行事を案内する手紙を書こうとしている。
登場人物のへんかに気をつけて読み、すきな場面について話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。
つたえたいことをはっきりさせて、ほっこくする文章を書こう	<ul style="list-style-type: none"> 改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。 段落の役割について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。
本は友だち	<ul style="list-style-type: none"> 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことをクイズにしようとしている。
場面をくらべながら読み、感想を書こう	<ul style="list-style-type: none"> 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って物語を読んだ感想をまとめようとしている。
進行にそって、はんで話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> 比較や分類のしかたを理解し使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。

<p>れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。 ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見つけたり、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫をいかした文章を書こうとしている。
<p>登場人物の行動や気持ちをとらえて、えらんだ民話をしようかいしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引用のしかたを理解し使っている。 ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようとしている。
<p>しようかいする文章を書き、感想をつたえ合おう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考えとそれを支える理由について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。
<p>読んで考えたことをつたえ合おう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 ・指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。
<p>言葉について考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに積極的に気づき、学習の見通しをもって相手に伝える文章を書こうとしている。
<p>書き表し方をくふうして、物語を書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
<p>つたえたいことを、理由をあげて話そう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで話の中心が明確になるように話の構成を考え、学習課題に沿ってお気に入りの場所を発表しようとしている。
<p>登場人物について考えたことを、つたえ合おう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わり結び付けて具体的に粘り強く想像し、学習課題に沿って考えたことをまとめ、伝え合おうとしている。

単元名	単元のまとまりの評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物語の「ふしぎ」について考え けっかと考察とのつながりをと らえよう	<ul style="list-style-type: none"> ・様子や行動、気持ちや性格を表す ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、登場人物の行動 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫すること。 ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不思議なできごとが起こるきっかけを見つけな ・すすんで、読みやすい文章のポイントについて考えることをおとして、学習課題にそって、筋道立てて文章を書こうとしている。
伝わりやすい組み立てを考え て書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考え、学習の見直しをもってリフレットの組み立てを考えようとしている。
落語を声に出して楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じかたに違いがあることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで場面の様子や登場人物の気持ちを具体的に想像して読み、おもしろいと思ったところを伝え合い、今までの学習を生かして落語を音読したり演じたりして楽しもうとしている。
話の組み立てを考えて発表し よう	<ul style="list-style-type: none"> ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるように構成を考え、学習の見直しをもって、写真から読み取ったことを話そうとしている。
集めたざいりょうでわかりやすく 伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強くまちがいを正したり文章を整えたりし、学習の見直しをもって新聞を作ろうとしている。
場面の様子をくらべて読み、感 想をまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで場面の様子を比べて読み、大切な言葉から作品に込められたメッセージや作者の思いを積極的に想像し、今までの学習を生かし、自分の考えたことや感想を感想文に書いて、伝え合おうとしている。

自由に想像を広げて書こう	・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・積極的に、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりし、学習の見直しをもって「ショートショート」を書こうとしている。
登場人物の気持ちの変化を考えて、日記を書こう	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	・すすんで、登場人物の気持ちの変化や情景について場面の移り変わりや結びつけて具体的に想像し、学習課題にそって登場人物になりきって、気持ちの変化がわかるように日記を書こうとしている。
役わりに気をつけて話し合おう	・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	・積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見直しをもってクラスで話し合おうとしている。
大事な言葉や文に気をつけて要約しよう	・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	・すすんで、本文を読んで自分が興味をもった部分を要約することを通して、学習課題にそって、本文をわかりやすく紹介する文章を書こうとしている。
調べたことをわかりやすく書こう	・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	・積極的に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見直しをもって「不思議ずかん」を作ろうとしている。
自分の経験と結びつけて考えたことを伝え合おう	・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	・積極的に筆者の考えと自分の考えを比べながら読むことを通して、具体的な経験をもとに考えをまとめることの有効性に気づいている。
調べてわかったことを発表しよう	・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。	・身のまわりの「便利」について調べ、わかったことを図などの資料を示しながら、言葉の調子や強弱、間の取り方に気をつけて発表しようとしている。
伝えたいことをはっきりさせて書こう	・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	・積極的に、書こうとしたことが明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見直しをもって、よりよい表現を選んで文章を書こうとしている。

<p>登場人物のせいやくや気持ちのうつり変わりを読もう</p>	<p>・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。</p>	<p>・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付い</p>	<p>・積極的に登場人物の性格の違いや気持ちの移り変わりを考え、学習課題にそって、考えたことを根拠をはっきりさせて伝え合おうとしている。</p>
---------------------------------	---	--	--